

# 支笏湖ビジャーセンター便り



2016年(平成28年)3月号 Vol. 75

辺り一面雪景色ですが、日差しは暖かく風も穏やかになってきました。樹木の根本には「根開き」が見られ、地面が顔を出している場所も。春はもうすぐ！のはずですが、春らしさを感じるのはもうちょっと先の様です。でも、小さな、小さな「春」はありましたよ。

先月21日まで開催されていた「千歳・支笏湖氷濤まつり」の会場の取り壊しが、気温が上がり氷の緩む3月1日より行われています。「冬も終わるな～」(3月14日)

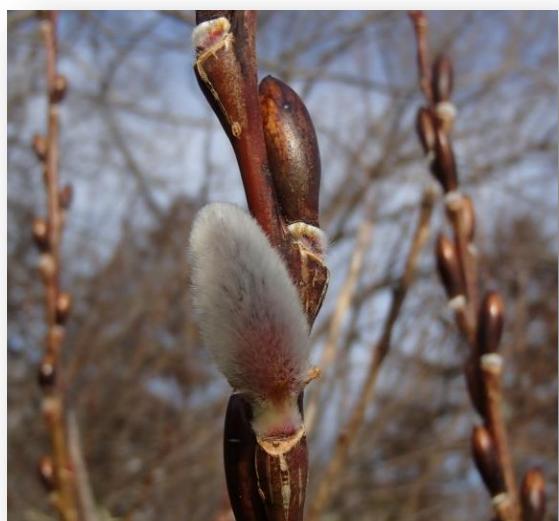
## 春はどこかな？



春が近づくと湖面を吹き荒らしていた風が静まっています。湖面が鏡状になる日も出てきます。暖かい日差しを体に受けながら穏やかな湖面を眺めるのがこれからの一一番の贅沢（？）！「春だ～！」(2月28日)



落ち葉の下で寝ていることが多いビジャーセンターのエゾアカガエル。最近、館内に差し込む温かい日差しを感じてか、起きて元気に動きまわる姿がちょくちょく見られます。春の到来を感じているのか？！



綿毛をまとったヤナギの芽が顔を出しました。休暇村支笏湖（ビジャーセンターから徒歩15分程）周辺のヤナギはこのあたりの芽吹き一番！「春～♪」(3月14日)

支笏湖畔では毎年少數の飛来が確認できますが、飛んでいる姿を見る程度でした。しかし、3月7日には、しばらくの間木の上にとまっている姿を観ることが出来ました。今季は目撃情報が普段よりも多く寄せられています。皆さんも会えるかもしれません。湖畔橋からは、他の冬鳥たち（カモの仲間など水鳥）も見られます。見られる水鳥の情報はビジャーセンターで掲示していますので野鳥観察の際の参考にしてください。



成鳥：大きな黄色の嘴と、体の白と黒のパターンが目立つ。

望遠鏡で覗くと成鳥とみられるオオワシが確認できました。

オオワシ：冬鳥。主食は魚類。天然記念物。国RDB絶滅危惧Ⅱ類。北海道RDB絶滅危惧種。



ビジャーセンターから歩いて5分くらいのところに千歳川に架かる湖畔橋があります。橋から下流を見て200m程の所にある枯れ木の上にオオワシがとまっていました。

春が近づけば「冬鳥」は最終です！もうすぐ北に帰る「冬鳥」探しも同時に楽しんでいきましょう！

オオワシ飛来！

# 支笏湖温泉の気象

気温(℃)

	平年値	今年
2月上旬	-5.3	-4.9
中旬	-4.8	-1.9
下旬	-3.7	-5.1
3月上旬	-3.2	-2.4

支笏湖畔の気温・降水量・  
日照時間  
～気象庁アメダスによる  
平年値と今年の観測～

降水量(mm)

	平年値	今年
2月上旬	19.7	15.5
中旬	31.4	25
下旬	24.7	47.5
3月上旬	31.5	34

日照時間(h)

	平年値	今年
2月上旬	34.5	50.2
中旬	37.1	29.3
下旬	33.9	40.2
3月上旬	45	38.9

2月上、中旬は1月に引き続き降水量の少ない状況が続いていましたが、29日に36mmの降水があって同月の平年値を越えてしまいました。積雪深も一気に増え26cm増しの56cmになりました。3月10日の積雪深は46cmですが、それでも前年同期の105cmと比べると半分以下です。

3月に入った支笏湖は、いよいよ湖面が鏡のように静まって周囲の山々を映し出す「鏡」の季節に入りました。今年はまだ「鏡」は出現していませんが、3月4日朝に波がかなり静まって、若干ですが周囲の山々が映し出される「半鏡」状態になりました。

アクティブルンジャー日記



またね 支笏湖

この連載を畠山がお送りするのは今回をもって最後となりました。支笏湖と皆さんと一緒に居られるのは今まで。4月から新しいARとバトンタッチします。寂しい気持ちもありますが、日も長くなり、ひしひしと感じる春の兆しに癒やされています。支笏湖と皆さん、最後までありがとうございます。また会う日まで！

環境省 支笏湖自然保護官事務所  
アクティブルンジャー 畠山 夏香

## ビジターセンター自然ふれあい行事

今年度もご参加ありがとうございました！

**釣り** 27年度も自然ふれあい行事を毎月2回行ってきました。うち4回は雨天中止となっていましたが、延べ180人の皆様に支笏湖の自然に触れ合っていただくことが出来ました。支笏湖ビジターセンターは身近な自然の面白さを知ってもらうことと、自然の中に身をゆだねることの楽しさを知ってもらうことを目標に活動しています。「来年度も参加者の皆さんの驚く顔と笑顔が見たい！！」とスタッフはただいま来年度の計画立案の真っ最中です。年間行事が決定するのは4月下旬！楽しみにしていてください！

虫探し ウォーキング

サイクリング  
クラフト  
スノーシュー

## 冬の自然観察会でよく聞かれる質問



あの枝先についている「黒い」は何ですか？



ホオノキの実です。長さ15cmくらいの大きさです。この木の実に詰まっている種をアカゲラ（キツツキ科）などの野鳥が食べにやってきますよ。10月の熟した姿は真っ赤で、南国のフルーツ・「ドラゴンフルーツ」のよう見た目で食べなくなる人もいるようですが、アイヌの人たちは煎じて風邪薬などにして使っていたようです。

長さ40cmほどにもなる大きな葉っぱは、青葉の頃、おにぎりを包むときに使われたり朴葉味噌（ほおばみそ）に使われたりしています。6月咲く花は白くて大きい。いい香りもします。一年を通して観察するにはとても面白い樹木です！

## ◎ビジターセンター多目的室の催し物

### 支笏湖日記展開催中！3月27日まで

ビジターセンタースタッフが交代で地元新聞「千歳民報」に記事を寄せています。毎月1回掲載される日記には季節感あふれる自然情報を詰め込んでいるので、まとめて読むと支笏湖の一年の様子がよくわかります。記事を大きくポスターサイズにして読みやすくしています。ぜひご覧ください！